

機械器具 13 聴診器
一般医療機器 機械式聴診器 13755000

MMI 聴診器

【禁忌・禁止】

＜適用対象(患者)＞

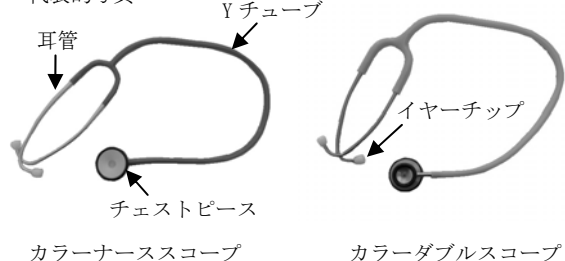
材質に過敏症がある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本品は、チェストピース（集音部）、Yチューブ、耳管、イヤータップから構成される。

代表的写真



チェストピース部分詳細



<仕様>

カラーナーススコープ：片面採音、ダイヤフラム型

カラーダブルスコープ：両面採音、ダイヤフラム型・ベル型

2. 原材料：

各部の名称	原材料	
	カラーナーススコープ	カラーダブルスコープ
ダイヤフラム固定リング	ポリ塩化ビニル※	ポリ塩化ビニル※
ダイヤフラム	ファイバークラス	ファイバークラス
ノンチルスリーブ		ポリ塩化ビニル※

※可塑剤：フタル酸ジブチル＋フタル酸ビス(6-メチルヘプチル)＋フタル酸ジプロピル＋フタル酸ジノニル＋フタル酸ジヘキシル

3. 原理

チェストピース（集音部）によって集めた臓器音を、Yチューブによって分岐し、耳管・イヤータップを通じて操作者の両耳に伝える。

【使用目的又は効果】

心臓及び肺の音を聴くために用いる機械式の聴取装置をいう。通常、リスニングヘッドに膜があり、この膜が分岐Y字型チューブによってイヤータップ（ユーザの耳に挿入する）を備えたヘッドギアに接続されている。本品は臨床・病棟活動に用いる汎用聴診器である。

【使用方法等】

1. 使用方法

- 1) チェストピースをYチューブ先端に取り付けて組み立てる。
- 2) 耳管を解剖学的に正しい方向になるようにし、イヤータップを両耳にはめ、患者の体表面にチェストピースをあてがい、聴診する。
- 3) カラーダブルスコープは両面に聴診面を有しているので、用途に応じて切り替えて使用する（ダイヤフラム型は高音に、ベル型は低音に適する）。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 操作者はイヤータップ装着時に、外耳を傷つけないよう注意すること。
- 2) 創傷部位にチェストピースをあてないこと〔圧迫によって患者に痛みを加え、感染の原因になるため〕。
- 3) 浸漬、高圧蒸気滅菌はしないこと。
- 4) 溶剤やオイルと接触させないこと。

2. その他の注意

- 1) イヤータップを両耳にはめるとき、耳管を過度に開かないこと〔板バネ部分が折損することがある〕。
- 2) バネのテンション調整の際、耳管やイヤータップ部分を持って無理に引っ張らないこと〔板バネ部分が折損することがある〕。
- 3) Yチューブを過度に折り曲げた状態でポケット等に収納しないこと〔繰り返すと、Yチューブに亀裂が入ることがある〕。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄、消毒

- 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液、体液、組織、薬品等は直ちに清拭し、消毒する。
- 2) イヤータップ、Yチューブ、チェストピースは、アルコールで湿らせた柔らかい布等で清拭する。
- 3) チェストピースのダイヤフラム部は、強く圧迫を加えないように清拭する。
- 4) ベル面の中央部の穴から消毒液等の液体が浸入しないよう注意する。

2. 点検

使用前に汚れ・破損・可動部の動き等を点検する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：村中医療器株式会社

TEL:0725-53-5546

<http://www.muranaka.co.jp/>製造業者：メディケア インストゥルメント(ウーシー)社 中華人民共和国
Medicare Instrument (Wuxi) Ltd.